

## 幕府 260 年の礎を築いた 2 代将軍 徳川秀忠

地道に頑張った人は評価されず、派手な人がもてはやされる傾向にあった日本。しかし、彼がいなかったら徳川幕府は 260 年続かなかっただろう。

\*秀忠は三男で側室の子として浜松で生まれた、幼名は長丸。

\*嫡男は信康で、母は築山御前。築山御前は信長に甲斐の国とのつながりを疑われ、家康は築山御前を殺害。

\*家康は二男は自分の子ではないのではと疑っていた、それだけに秀忠に期待をしていた。

\*秀忠を豊臣秀吉に人質として差し出す、元服して「秀吉」から一文字もらい、秀忠を名乗る

\*1598 秀吉が死去

### \*1600 関ヶ原の戦い

家康は秀忠に本多正信をつけ、本隊 38,000 の指揮をまかせる。本体は中山道を西へ向かい、家康は東海道を西へ向かった。が、秀忠はなぜか中山道を外れ上田へ向かう。行きがけの駄賃に真田を血祭りに上げようとした、相手は 3,000 となめてかかったものの 3 日しても落とせなかった。最後は本多正信の助言を受け入れ、一週間遅れて西へ向かう。

家康は本隊抜きでは戦えないと考えていた、が、戦いは一日で決着し家康が勝利した。その結果、秀忠の本隊は戦いに間に合わなかった。

秀忠は 9 月 20 日大津で追いつくが、家康は会わなかった。

\*家康の跡継ぎを決める時、家康は重臣たちの意見を聞いた。秀忠を推挙したのは大久保忠睦のみで、他の重臣は二男を推挙した。それもあり、秀忠はお飾り将軍と揶揄された。

### \*1614 大阪冬の陣

総大将は秀忠、彼は総攻撃を主張するも家康は反対し、いいところは見せられなかった。

### \*1615 大阪夏の陣

実の娘「千姫」が夫豊臣秀頼の助命を嘆願してきた。その扱いを秀忠に任せた家康。結果、秀忠はこれを黙殺した。この結果、徳川が完全勝利し、秀忠も家康に認められた。

### \*1616 家康病床に.....74 歳で死去

これ以後、秀忠は家康にお伺いを立てることもなくなり、何事もスピーディーに処理するようになった。

\*幕府の体制を強化すべくいろいろな施策を打つ

武家諸法度(文武の奨励・築城の禁止)..... 大きな礎となった

娘を天皇に嫁がせた

外国船は長崎と平戸に限定

福島正則が勝手に修理したとして処分

外様のみならず 41 家をとりつぶした.....体制の強化

**\*最も優れた二代目だった、15 年に渡り天下を治め 52 歳で死去。**